

よなか ふしぎ わ
世の中には不思議で分かりづら
いことがたくさんあります。自然、
かがく れきし くわ せんせい と
科学、歴史など、詳しい先生に解き
あ
明かしてもらいましょう。

し こう き しん
知りたい**好奇心**



© 藤ゆたか / ポプラ社

さかな 魚の「すみやすさ」には た よう みず なが ひつ よう 多様な水の流れが必要

昔はどこでも見つけるこ
とができた生き物の数が最近
減っている、との話をよく
聞きます。それにはいろいろ
な理由があると言われています
が、魚のように水の中に
暮らしている生き物の場合に
は、川の環境の多様性が少
なくなることが理由の一つ
と言われます。

いろいろな環境

私たちと同じように、川
の中で魚が生活するのにも、
えさをとる場所、子どもを育
てる場所、休む場所などいろ
いろな場所があること、つま
り環境が多様であることが暮
らしやすいのです。けれど洪
水被害を防ぐために行われ
る河川改修などによって、
川の流れ方が単調になって
しまうようなことがあると、
魚にとっては環境の多様性が
減って、すみにくい川になっ

てしまうのです。

7月に、Yamanashi
iみずネットと国土交通省
甲府河川国道事務所は、山梨
淡水生物研究会と一緒に、
「水辺の探検」と称した生
き物調査を行いました。芦
川が笛吹川に合流する前の
地点を調査地にしましたが、
水がきれいであることに加
え、それほど広くはない場所
でも流れの速さや水の深さが
違うところがあったせいでし
よう、参加した大勢の子ども
たちは、いろいろな生き物を
見つけることができました。
この環境は、川の生き物に
とってはすみ心地の良い場所
のようです。

人の行為が影響

ところで、捕まえた魚の種
類を調べてみると、カワヨシ
ノボリ、カジカ、アユ、ウグ
イ、アブラハヤなどともに、



芦川で捕まえられたカワムツ

カワムツという魚がたくさん
いました。カワムツは、日本
でももともとは能登半島と天
竜川水系以西の本州、四国、
九州に分布していたのです
が、琵琶湖のアユの放流に
混じって関東や東北地方にも
分布するようになった魚と言
われています。

芦川でたくさん見つかった
のは、この魚にとっても、こ
こは産卵し、稚魚が育つのに
適した場所なのでしよう。山
梨淡水生物研究会の皆さんに
よると、山梨県内にも、これ
までよく見かけた魚以上に、
カワムツの数の多さが目立つ
ようになった川がある、との
ことです。

アユの放流は人の手による
ものです。こうして魚を捕ま
えてその種類や数を調べてみ
ることで、人の行為が思いが
けないところにも影響を及
ぼしていることを知ることが
できました。皆さんも近くの
川の魚を調べてみませんか。
(山梨大学総合研究部国際流
域環境研究センター教授 風
間ふたば)

「水辺の探検」で調査した地点は、水がきれいな上にそれほど
広くない場所でも多様な水の流れがありました。|| 市川三郷町

